

- 宿所提供施設版 -

事業プロフィール

1. 事業所名 :

2. (1) 運営主体(法人名等) :

(2) 設置主体 :

3. 事業所所在地 :

4. 事業所の長の氏名(施設長等) :

5. 連絡先

Tel:

Fax:

Eメール:

ホームページ:

6. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内(例. 更生施設等、評価対象事業を含む。)

1)

2)

3)

4)

5)

7. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している全事業のうち、今回の評価対象サービス事業が占める割合

収入面でみて 約 \_\_\_\_\_ %

職員数でみて 約 \_\_\_\_\_ % (非常勤は常勤換算)

8. 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷(制度改正に基づくもの含む)

(1) 開始時期 年 月

(2) 重要な変遷

9. 理念・方針

事業所が大切にしている考え(事業所の理念、ビジョン、使命など経営・運営方針)のうち、特に重要なもの(上位5つ以内)を簡潔に記述

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

10. サービス提供の考え方について記述(日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた施設独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む)

11. 期待する職員像

(1)職員に求めている人材像や役割

(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

12. 職員の状況( 年 月 日現在)

(1)常勤職員数 \_\_\_\_\_人

非常勤職員数 \_\_\_\_\_人(常勤換算 \_\_\_\_\_人)

(計算式:非常勤職員のそれぞれの勤務延時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数 (事業所に勤務する専門職ごとの人数を記載(基準外を含む))

臨床心理士		保育士		精神保健福祉士	

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

\* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 常勤職員の平均年齢 \_\_\_\_\_ 歳

(5) 常勤職員の男女比 \_\_\_\_\_ 男性 \_\_\_\_\_ % / 女性 \_\_\_\_\_ %

(6) 常勤職員の平均在職年数 \_\_\_\_\_ 年 (現在の事業所での在職年数)

(7) 職員の採用・退職状況 (当施設での前年度実績)

採用 常勤: \_\_\_\_\_ 人 ・ 非常勤: \_\_\_\_\_ 人

退職 常勤: \_\_\_\_\_ 人 ・ 非常勤: \_\_\_\_\_ 人

13. 現在のサービス提供能力と利用者数 (以下のどれかに つける)

- 1) 入所の問い合わせはあるが、満員のため断ることがかなりある (昨年度 \_\_\_\_\_ 件)
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない (ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他 ( \_\_\_\_\_ )

14. 3年後の見通し (以下のどれかに つける)

- 1) 地域のニーズに応じて施設機能を生かした新たなサービスを提供する計画がある
- 2) 現在のサービス水準を維持する方向で考えている
- 3) 経営改善・意識改革をしていかないと、現在のサービス水準を下回ることも予想される
- 4) その他 (受託施設の場合、受託者として入所者の現状、社会情勢から考えられる事業展開を記入)  
( \_\_\_\_\_ )

15. 評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

人的サービス面

- 1)
- 2)
- 3)

設備・環境面

- 1)
- 2)
- 3)

16. 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述(制度改正を含む)

17. 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述

(例. 経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事業者間交流、入浴設備の拡張など)

- 1)
- 2)
- 3)

18. 定員および現在の利用者

(1) 施設定員 \_\_\_\_\_ 世帯 \_\_\_\_\_ 人

(2) 直近月初の入所率(現入所世帯数÷室数×100)約 \_\_\_\_\_ %

新規の申込者が1年以内に利用できる可能性

(3) ( \_\_\_\_\_ )年度の退所世帯数及び自活退所状況 \_\_\_\_\_ 世帯

自活 \_\_\_\_\_ 世帯、居宅移管 \_\_\_\_\_ 世帯、

入院除籍 \_\_\_\_\_ 世帯、他施設移管 \_\_\_\_\_ 世帯、任意退所 \_\_\_\_\_ 世帯、

無断退所 \_\_\_\_\_ 世帯、命令退所 \_\_\_\_\_ 世帯、死亡 \_\_\_\_\_ 世帯、

拘留除籍 \_\_\_\_\_ 世帯、その他 \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ )

(4) 現在( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)の利用者の状況

現在の利用世帯数 \_\_\_\_\_ 世帯、 \_\_\_\_\_ 人(うち単身世帯 \_\_\_\_\_ 世帯)

男女比 男性 \_\_\_\_\_ % / 女性 \_\_\_\_\_ %

平均年齢 \_\_\_\_\_ 歳

世帯の内訳

(母子世帯) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(女性単身) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(男性単身) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(夫婦のみ) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(夫婦子あり) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(その他) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)(内訳: \_\_\_\_\_)

入所原因

(現住所立ち退き) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(夫等からの暴力からの逃避) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(自立した社会生活困難) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(住所なし) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(親族不和) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(その他) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)(内訳: \_\_\_\_\_)

入所形態

(一般入所) \_\_\_\_\_ 世帯  
(緊急一時保護) \_\_\_\_\_ 世帯  
世帯属性(世帯単位でいずれかひとつ)

(高齢 65 歳以上) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(ひとり親) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(身体障害・手帳所持者) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(知的障害・手帳所持者) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(精神障害・手帳所持者) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(アルコール依存症・診断のある人) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(外国人) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)  
(結核回復) \_\_\_\_\_ 世帯( \_\_\_\_\_ %)

利用者の措置した福祉事務所で多いもの上位 3 箇所を記述

1. \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ %) 2. \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ %) 3. \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ %)

(計算式: 入所者の多い区市町村から入所した利用者数 ÷ 現員数 × 100)

利用者固有の問題に対する専門的援助の実施状況(複数回答あり)

(アルコール問題) \_\_\_\_\_ 人(現員に占める割合 \_\_\_\_\_ %)  
(負債問題) \_\_\_\_\_ 人( \_\_\_\_\_ %)  
(精神疾患) \_\_\_\_\_ 人( \_\_\_\_\_ %)  
(その他) \_\_\_\_\_ 人( \_\_\_\_\_ %)(内容: \_\_\_\_\_)

19. 施設の状況

(1) 居室の状況

居室の間取りと部屋数(例・4.5 畳、6 畳、DK 2 室)

